

# 令和5年度（第5期）事業計画書

（令和5年6月1日から令和6年5月31日）

一般社団法人 日本サイコネフロロジー学会

1. 学術集会の開催	第34回日本サイコネフロロジー学会学術集会 会期：令和5年7月22日～23日 会場：大垣フォーラムホテル 大会長：種田美和先生（医療法人社団大誠会）
2. 学術集会の運営	第37回学術大会大会長を選出する 令和5年5月23日理事会決議 第35回学術大会の準備を進める 会期：令和6年7月27日～28日 会場：ホテルハマツ（福島） 大会長：鈴木一裕先生（すずきクリニック）
3. 学術誌等の発刊	第2号、3号の発行（年2回発行目標）
4. 研究の奨励及び業績の表彰	春木賞の選考、表彰、講演 野原賞の選考、表彰
5. 各種会合	総会：令和5年7月22日 理事会：年2-5回（Web会議） 各種委員会：学術集会時、その他随時（Web会議）
6. 会員管理	クラウド型会員管理・入金管理システム「シクミネット」を導入 受付、退会、登録変更、年会費支払い業務を無人化
6. 広報活動	会員専用ページの活用検討
7. 診療ガイド作成	当日診療ガイド委員長より説明予定
8. 臨床研究推進	会員アンケートの結果から、アプローチすべき課題は認知症関連とし、問題点や今後の対策、教育事業などの必要性を明確にするために、以下の活動を行う。 ①さらに詳細な調査を行うために協力施設を整備する。 ②上記施設を対象として、様々なメンタル不調の罹患率を調べる。（施設レベルのPrevalenceの調査） ③困っている具体的な問題行動の頻度、その負担度を明らかにする。（個別患者の調査） ④上記の解析により、必要とされる教育アイテムを整備、提供する。 ⑤教育アイテムによる現場の問題意識の変遷を評価する。
9. その他	